

新たに入会された皆さん
正会員、団体会員

株式会社コトバノミカタ

新たに入会された皆さん
賛助会員

岩佐将志
株式会社ビッグスタッフ
高橋由希

寄付をいただいた皆さん

森本樹
中村豪
山口一史
宝塚の杜芸術俱楽部
特活(宝塚の杜芸術俱楽部)
特活(日高共同作業所)
特活(シェアーフィールド)
石橋さなえ
金井塙美根
小林浩昭

(順不同、敬称略 期間:2017年6月1日~8月31日まで)

宝塚市立勤労市民センターにて、展開中の事業にも寄付いただいています

100色 珈琲 つばめ 文庫
→ 計 67,099 円
2017年4月1日~8月31日

♥
ご支援ありがとうございました。

(認定) 宝塚 NPO センター会員募集・継続のお願い

宝塚 NPO センターは、「市民が市民を支える社会」を作るために、市民活動の支援をしています。人がつながり仲間になる、仲間がつながり地域になる、地域がつながり社会になる、その全ての場面を支えるセンターでありたいと考えています。私たちの活動を、会員として一緒に支えて下さいますようお願いいたします。

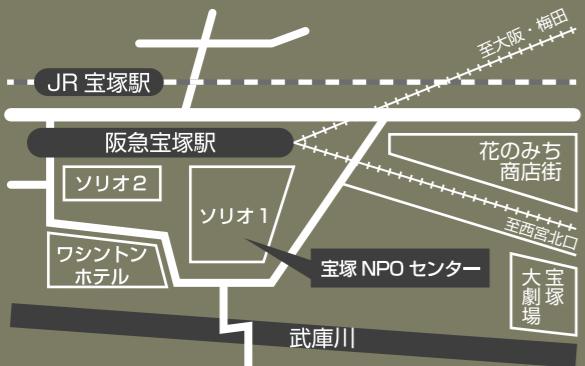
※認定 NPO 法人への寄付は税制面で優遇されます。

会費

個人正会員	団体正会員 (NPO 法人他)	法人正会員	賛助会員
10,000 円		30,000 円	3,000 円

振込先

銀行名	銀行振込	郵便振替
銀行名	三菱東京 UFJ	
支 店	宝塚支店	
口座番号	普通預金 3629422	00930-8-77117
カ ナ	トクティヒエリ タカラヅカエヌピーオーセンター	タカラヅカエヌピーオーセンター
口座名義	(特) 宝塚 NPO センター	宝塚 NPO センター



(認定) 宝塚 NPO センター

〒 665-0845
兵庫県 宝塚市 栄町 2-1-1
ソリオ 1 - 3F
TEL : 0797-85-7766 FAX : 0797-85-7799
E-mail : zukanpo@hnpo.net
URL : <http://hnpo.net/>
駐車場 : ソリオ 1 … 30分 200円

発行人：牧里 每治 編集人：中山 光子

宝塚 NPO センターニュース
**TAKARAZUKA
NPO CENTER
NEWS**

市民の手で市民活動を支える

92 このニュースの編集、発送はボランティアの
皆さんにご協力いただいています

2017.9

夢は
地域のみんなが集い
お母さんと子ども達が共に育ち合い
笑顔の輝く場をつくること



宝塚 NPO センターは
メールマガジンを月 1 回配信しています

✉ zukanpo@hnpo.net

上記アドレスに「配信希望」とご連絡ください

みなさまの寄付で支えられています
♥
<http://hnpo.net/support/>
認定 NPO 法人に寄付をすると税金が戻ってきます

NPO法人
たんぽぽルーム代表理事 宮本真由美

●協働の場づくり

<宝塚市市民活動促進支援事業>

宝塚市内の2団体「高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業補助金」認定される

「株式会社コトバノミカタ」と「特定非営利活動法人まちづくりの会すけっと」が、兵庫県「高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業補助金」の認定をうけました。このことにより、兵庫県より補助金を受け、29年度末までに申請した事業をカタチにする取り組みを進められます。

「株式会社コトバノミカタ」の事業は、シニア世代に作文教育事業者として子ども達と交流する機会を設け、シニア世代が子どもと接することで新たな生きがいを見つける「宝塚発！シルバー世代が育む孫世代の作文力」。

現在では多くのマスコミに取り上げられています。

「特定非営利活動法人まちづくりの会すけっと」は、安心して住みつづけられるまちづくりのために中山台周辺の高齢者や身体の不自由な方の通院や買物などの外出介助を目的とする「このまちに住みつづけるための福祉有償運送」事業。

坂の多い町でのシニア同士の助け合いの取り組みが評価され認定されました。



エレベーターの無い団地群がフィールドです



株式会社コトバノミカタの本下瑞穂さん



まちづくりの会すけっとの皆さん

●市民ネットワークづくり

幅広い世代が共に学べる場“宝塚まちかど大学”

“宝塚まちかど大学”は、宝塚NPOセンターが運営しているコミュニティカフェKaRuTaで開催される夜のイベント。

7月11日(火)と8月8日(火)は「ビッグイシューの取り組みと、販売者が語る半生」をテーマに2回シリーズで開催しました。

2回連続で同一のテーマを扱うのはまちかど大学では初めてのことでしたが、大学生からシニア世代まで、幅広い層の方が関心を持ち参加してくださいホッと胸をなでおろしました。



販売者さんへの質疑応答

今回の講師は有限会社ビッグイシューの2名と宝塚市内の現役の販売者さんの計3名。
パワーポイントに映し出された「ホームレスは状態であって、その人の人格ではない」の言葉にうなずく方が多く、その後の販売者さんの半生では普段なかなか聞けない販売者さんの生の声を聞きその人柄に触れ、偏見やイメージではない「現実」を知ることから自分たちにもできる支援の糸口を見出す、そんな時間でした。
「何とかできないか」と思っていること「今まで知らなかった」ことをみんなで学び・意見交換できる“宝塚まちかど大学”。
今後のテーマにもご注目ください。



担当スタッフ
高橋 由希

3月末から9カ月間、インターをしているコープこうべの高橋です。



親子で一緒に絵本の読み聞かせ

<宝塚市きずな家事業>



かざぐるまを手に元気に駆け回ります！

「地域で育てる心の根っこ、人ととの温かさが触れ合う広場作り」

NPO法人たんぽぽルームは、幼児期に必要な豊かな経験ができるような保育を展開し、親子のかかわりを大切にしながら子育て仲間同士がつながる「親子の笑顔の広がる広場」になることを目指し活動しています。

現代の子どもを取り巻く環境は多様に変化し、心配なことがたくさん増えてきています。伸び伸びと思い切り遊ぶ場所がない、子ども達が人間性や社会性を育む機会が少なくなってきたなど、子ども達の成長に必要な経験ができにくくなっています。また、地域とのつながりが低下しお母さんが一人で不安や悩みを抱え込んでしまうこともあります。

子どもも親も一緒に楽しいこと、好きなことを見つける。時には悩み、失敗もしながら、共に育ちあう経験を積み重ねていける、そんな場所を作りたいと思います。人と人とがつながり、いっぱい笑い、喜び、時には怒ったり泣いたり、面倒くさいこともあります。あるかもしれないけれど、やっぱりつながりっていいなあと思いつつあります。

たんぽぽルームは、地域のみなさま、幼稚園、児童館、自治会の方々、卒園児のママ達にいつも支えられています。今後も世代を超えたつながりを更に深め、地域全体で子育て家庭を支える環境づくりに努めていきたいと思います。色々な感じ方、考え方があるって素晴らしい！たくさんの子ども同士、子育ての先輩も子育て仲間も、みんなが集まる「たんぽぽルーム」をつくっていきたいと思います。

NPO法人たんぽぽルーム 宮本 真由美

取材に行ってきました！！

「親子が笑顔になれる場所づくり」

30年以上前、中川智子宝塚市長が宝塚市安倉地区に立ち上げた子育てサークル「キンダールーム」。

時代の流れの中で家族の形態は多様化し、子育ての環境も様々になっていますが、設立当初から「地域と子どもとお母さんの笑顔のために」を合言葉に活動を続けています。今回、お話を来ていただくのは3代目の代表で、1年前に「法人格を取得して組織化した活動をしたい」とNPO法人「たんぽぽルーム」を設立し、代表理事に就かれた宮本真由美さんです。

「ケンカも実際に経験しなければ、解決方法も分からない」

一昔前であれば生活の中で経験するであろうことを経験せずに成長している子が増えているのが気になります。また、保護者がトラブルを避ける傾向から小さな頃に他者と関わっていない子どもが多く、その結果、人間関係をうまく築くことができないのではないか。宮本さんは、それが小中高校の問題に繋がっているのではないかと感じていると話されます。それならと「たんぽぽルーム」では存分に子ども同士が関わりあう経験ができるようにしています。

時には子ども同士のケンカも起きますが、その中で自分の思いを出す、相手の気持ちに気づく等、一人一人が人として成長できる場と捉え、解決する方法を子ども同士で考えさせます。

「孤独を感じているお母さん達が見過ごされている」

働くお母さんが増えている現在、待機児童問題は社会課題として取り上げられことが多いですが、見過ごされがちなのが出産後のお母さん達の孤独。出産直後はどうしても引きこもりがちになり、母子ともに落ち着いてからいざお母さん達の輪の中に入ろうとすると、どのように一步を踏み出すか悩むことがあります。そのようなお母さんが気軽に立ち寄れホッとする場を作りたいと考えた宮本さんは、新たに1歳児までを対象とした「ベビーたんぽぽ」を開設しました。そこでは子ども達と一緒にお母さん同士が出会い、つながりを作る場になっているそうです。

「お母さん達や地域の方々からの協力に応えたい」

卒園児のママ達が地域に「たんぽぽルーム」を広報して安倉のまちづくり協議会とつないでくれました。その縁で、夏祭りに参加しブースを出しました。卒園生のママの協力は大きなものです。地域の方に「たんぽぽルーム」のイベントに参加いただくななど、相互にかかわる関係です。そうした応援に応えるためにも「誰でもが自由に集える場を作りたい」と宮本さんは語ります。若いお母さんも地域のおじいちゃんおばあちゃんも誰でもが訪れて気軽に話をして元気になり輝ける場所。それが子ども達にとっても良い環境となるはず。「まだ夢の段階だけれども地固めをしていつか実現したい」と話される宮本さんの真摯に活動に取り組む姿勢が、お母さんやシニア世代の心を揺り動かすのだと感じました。

NPO法人たんぽぽルーム 連絡先 E-mail:tampoporoom@gmail.com
Web:<http://tampoporoom.wixsite.com/smile>
Facebook:<https://ja-jp.facebook.com/tampoporoom.takarazuka>